

平成26年

災害の記録

鹿児島県



## はじめに

平成26年中の災害による本県の被害額は、約139億円となりました。

主なものとしては、10月4日から6日にかけて接近した台風第18号により公共土木施設や農林水産業施設等に甚大な被害が生じました。

さらに、7月7日から10日にかけて接近した台風第8号、10月10日から13日にかけて接近した台風第19号により公共施設に甚大な被害が生じました。

火山災害においては、口永良部島新岳で34年ぶりに噴火が発生するなど噴火活動が活発化し、噴火警戒レベルが3に引き上げられました。また、桜島においても年間450回の爆発が発生し、降灰による農作物への被害額は、約62億円に上りました。

自然災害による被害を受けやすい本県においては、防災対策を県政の重要課題のひとつとして平成20年4月に施行した「県防災対策基本条例」に基づき、県民が自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がお互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、市町村、県及び防災関係機関が行う「公助」を基本として、各主体がそれぞれの役割と責任のもとに連携・共同して防災対策を着実にを行うこととし、各般にわたる様々な施策の積極的な推進に取り組んでいるところです。

今後とも県民の生命、財産を守るため、市町村や防災関係機関等と緊密な連携を図りながら災害の未然防止に万全を期して参りたいと考えています。

ここに、平成26年中に県内で発生した災害を収録しましたので、今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

最後に本誌の編集に当たり、御協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

平成28年3月

鹿児島県危機管理局危機管理防災課長 大竹 俊光

## 目 次

第1	災害の概況	・・・・・・・・	1
第2	被害総括表	・・・・・・・・	2
第3	降雨災害		
1	2月26日～27日の降雨	・・・・・・・・	7
2	3月13日の大雨・洪水	・・・・・・・・	13
3	3月29日～30日の大雨・洪水	・・・・・・・・	17
4	5月14日～15日の降雨	・・・・・・・・	22
5	5月26日の大雨・洪水	・・・・・・・・	27
6	6月3日の大雨・洪水	・・・・・・・・	31
7	6月16日の大雨・洪水	・・・・・・・・	35
8	6月21日～22日の大雨・洪水	・・・・・・・・	39
9	6月22日～25日の降雨	・・・・・・・・	46
10	6月27日～28日の大雨・洪水	・・・・・・・・	54
11	6月30日の降雨	・・・・・・・・	62
12	7月6日～7日の大雨・洪水	・・・・・・・・	66
13	7月19日の大雨・洪水	・・・・・・・・	74
14	7月20日の大雨・洪水	・・・・・・・・	79
15	7月30日の降雨	・・・・・・・・	83
16	8月4日～5日の大雨・洪水	・・・・・・・・	87
17	8月6日の大雨・洪水	・・・・・・・・	93
18	8月14日の大雨・洪水	・・・・・・・・	97
19	8月16日の大雨・洪水	・・・・・・・・	100
20	8月19日の大雨・洪水	・・・・・・・・	103
21	8月26日の大雨・洪水	・・・・・・・・	107
22	9月3日～4日の大雨・洪水	・・・・・・・・	110
23	9月6日の大雨・洪水	・・・・・・・・	118
24	9月7日の大雨・洪水	・・・・・・・・	121
25	9月12日の大雨・洪水	・・・・・・・・	124
26	9月14日の大雨・洪水	・・・・・・・・	128
27	9月21日の大雨・洪水	・・・・・・・・	131
28	9月23日の大雨・洪水	・・・・・・・・	134
29	10月26日の大雨・洪水	・・・・・・・・	138
30	11月30日の大雨・洪水	・・・・・・・・	143

第4	台風災害	
1	6月17日の台風第7号	147
2	7月7日～10日の台風第8号	153
3	7月31日～8月2日の台風第12号	175
4	8月7日～10日の台風第11号	191
5	10月4日～6日の台風第18号	213
6	10月10日～13日の台風第19号	230
第5	地震・津波災害	
1	2月2日の地震	253
2	3月3日の地震	254
3	10月22日の地震	255
第6	その他災害	
1	1月14日の霜害	256
2	1月24日の霜害	260
3	6月2日の突風	264
4	6月13日の崖崩れ	268
5	7月4日の強風	269
6	6月30日～10月13日の地すべり	272
7	6月3日～10月28日の地すべり	273
8	10月4日～11月17日の地すべり	274
第7	火山の活動状況及び被害状況	
1	桜島	275
2	霧島山（新燃岳，御鉢，えびの高原（硫黄山））	287
3	薩摩硫黄島	291
4	口永良部島	292
5	諏訪之瀬島	299
第8	参考資料	
1	平成26年災害気象名別被害額一覧表	303
2	平成26年災害年報	304
3	平成26年局地激甚災害指定	309
4	平成26年警報発令状況	310
5	平成26年地震発生状況	316
6	平成26年火山情報発表状況	317
7	平成26年避難勧告等発令状況	318
8	平成26年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	319
9	平成26年火災発生状況	322
10	平成26年出火原因別火災件数	323
11	鹿児島県におけるプロパンガス事故の発生状況	324
12	噴火警戒レベルとは	326

## 平成 26 年の鹿児島県内の天気の特徴

1月は寒気の影響を受けやすく、東シナ海側を中心にしぐれて、山地を中心に雪が降った所もあった。鹿児島市の雪日数は1日(平年2.3日)。月平均気温は、鹿児島市9.2度(平年比+0.7、以下カッコ内は平年比を示す)、奄美市14.5度(-0.3)。鹿児島市の月日照時間は183.3時間(138%)に達し、1月としては最も多い記録を更新した。鹿児島市では、29日に梅が開花(平年より2日早い)した。

2月は日本の南海上が前線帯となり、その前線上を低気圧が通過して、たびたび大雨に見舞われた。27日は種子島で1時間に51.0ミリの非常に激しい雨が降り、日最大1時間降水量の2月の極値を更新した。月降水量は、鹿児島市155.5ミリ(139%)、奄美市296.0ミリ(183%)。月平均気温は、鹿児島市10.5度(+0.7)、奄美市15.8度(+0.6)と平年を上回った。

3月は低気圧と高気圧が交互に過して天気が周期変化した。13日は大雨となり、屋久島で日降水量334.5ミリを観測した(3月としては歴代全国1位)。月の終わり頃は南から暖かい空気が流れ込んで昇温した。鹿児島市では20日にソメイヨシノが開花し(平年より6日早い)、31日に満開となった(平年より4日早い)。月平均気温は、鹿児島市13.1度(+0.6)、奄美市16.7度(-0.4)。月降水量は、鹿児島市189.0ミリ(105%)、奄美市159.0ミリ(68%)。

4月は、寒気が流れ込んで冷え込む日もあったが、天気は周期的に変わり、下旬になるとたびたび気圧の谷や前線の影響を受けた。月平均気温は、鹿児島市16.9度(0.0)、奄美市19.1度(-0.7)。月降水量は、鹿児島市114.5ミリ(56%)、奄美市75.0ミリ(33%)。

5月は、南西諸島付近で前線活動が活発化し、奄美で5日頃に梅雨入り(平年より6日早い)した。月降水量は、鹿児島市225.5ミリ(102%)、奄美市301.0ミリ(116%)、沖永良部304.5ミリ(167%)。月平均気温は、鹿児島市20.4度(-0.4)、奄美市22.1度(-0.6)。

6月は梅雨前線が奄美付近に停滞することが多く、九州南部でも曇りや雨の日が多くなった。九州南部は2日頃に梅雨入り(平年より2日遅い)した。月降水量は、鹿児島市672.0ミリ(149%)、奄美市646.0ミリ(157%)。月平均気温は、鹿児島市23.1度(-0.9)、奄美市24.8度(-1.2)。上空に寒気が入りやすく、気温が低くなった。

7月は、台風8号や台風12号、梅雨前線の影響を受けて大雨となった所があった。台風8号は8日頃に沖縄付近を通過したのち東へ転向、10日には鹿児島県阿久根市付近に上陸して県内は大荒れになった。台風8号はその後本州の南岸を東進した。この台風8号の北上に伴って梅雨前線が次第に押し上げられ、梅雨明けは、奄美で4日頃(平年より5日遅い)、九州南部で16日頃(平年より2日遅い)となった。また、31日は台風12号が沖縄へ接近し、奄美や九州南部でも大雨となった。月降水量は、鹿児島市363.0ミリ(114%)、奄美市320.0ミリ(158%)。月平均気温は、鹿児島市27.5度(-0.6)、奄美市28.9度(+0.2)。

8月は太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱く、湿った空気や前線の影響を受けやすかったことに加え、2つの台風の影響を受けた。1日から2日にかけて台風12号が沖縄・奄美付近を北上したのち黄海へ進み、9日には台風11号が九州の東海上を北上したのち西

日本を縦断した。九州南部は曇りや雨の日が多く、低温。奄美地方は期間の前半は天気がぐずつき、後半は晴れた日が多かった。月平均気温は、鹿児島市 27.7 度(-0.8)、奄美市 28.4 度(0.0)。月降水量は、鹿児島市 445.0 ミリ(200%)、奄美市 340.5 ミリ(127%)。月日照時間は、鹿児島市 122.6 時間(59%)とかなり少なく、8 月としては最も少ない記録を更新した。

9 月は、奄美地方は太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、西日本の南の海上に前線が停滞しやすく、九州南部は曇りや雨の日が多かった。21 日から 23 日は台風 16 号が台湾付近から東シナ海を北上し、24 日から 25 日は台風 16 号から変わった温帯低気圧が日本海を東進して、大雨となった所もあった。月平均気温は、鹿児島市 25.3 度(-0.8)、奄美市 27.4 度(+0.6)。月降水量は、鹿児島市 294.5 ミリ(140%)、奄美市 307.0 ミリ(101%)。

10 月は、5 日に台風 18 号が九州の東海上を北上したのち、6 日に静岡県に上陸して日本の東へ進んだ。さらに、12 日には台風 19 号が沖縄本島を通過し、13 日に鹿児島県枕崎市付近に上陸、その後、四国・本州を北東進した。いずれも、台風本体の雨雲と台風から流れ込む湿った空気の影響で、県内は大荒れや大雨となった所があった(5 日には種子島で日降水量 334.0 ミリを観測し、10 月の極値を更新)。台風 19 号の通過後は天気が周期変化し、大陸からたびたび寒気も流入して季節が進んだ。月平均気温は、鹿児島市 22.0 度(+0.8)、奄美市 23.9 度(+0.2)。月降水量は、鹿児島市 81.0 ミリ(79%)、奄美市 388.5 ミリ(166%)。

11 月は、上旬は天気が周期変化、中旬は強い寒気が南下してきたものの、下旬は南からの暖気の流入が強まり、顕著な高温に。月平均気温は、鹿児島市 16.6 度(+0.7)、奄美市 20.8 度(+0.6)。月降水量は鹿児島市 132.5 ミリ(143%)、奄美市 103.5 ミリ(58%)。

12 月は、日本付近を数日の周期で低気圧が通過し、その都度、冬型気圧配置となって寒気が流れ込んできた。鹿児島市では 7 日に初霜(平年より 3 日早い)と初氷(平年より 6 日早い)を観測、17 日には初雪(平年より 16 日早い)を観測した。東シナ海側を中心に曇りや雨、または雪の日が多く、奄美地方でも天気がぐずついた。月平均気温は、鹿児島市 9.1 度(-1.5)、奄美市 15.7 度(-0.8)。月降水量は、鹿児島市 102.0 ミリ(143%)、奄美市 178.0 ミリ(113%)。

2014 年 1 年間の平均気温は、鹿児島市 18.5 度(-0.1)、奄美市 21.5 度(-0.1)。降水量は、鹿児島市 2834.0 ミリ(125%)、奄美市 3182.5 ミリ(112%)。日照時間は、鹿児島市 1872.3 時間(97%)、奄美市 1292.9 時間(95%)だった。





## 第1 災害の概況

### ○ 降雨災害

雨による被害が公共土木施設や農林水産業を中心に発生した。被害額は約19億6千万円となり、年間被害総額の約14%であった。

### ○ 台風災害

平成26年中には、2個の台風が本県に上陸、8個の台風が本県に接近し、被害をもたらした。10月4日から10月6日にかけて接近した台風第18号は、奄美地方及び種子島・屋久島地方を中心に被害をもたらし、被害額は約21億3千万円となった。

また、台風災害による年間被害額は約56億3千万円であり、年間被害総額の約41%であった。

### ○ 地震・津波災害

2月2日、3月3日、10月22日に奄美地方で最大震度4を観測する地震が発生した。いずれも被害はなかった。

### ○ その他の災害

平成26年中は、暴風や寒害などにより農作物等を中心に被害が発生した。また、地すべり災害による被害等を含め、被害額は、約1億2千万円となった。

### ○ 火山災害

桜島の降灰により、野菜等の農作物に被害をもたらし、被害額は約61億8千万円となり、年間被害総額の約45%であった。

### ◆ 災害種別被害額

平成26年被害総額 13,884,184千円

種 類	被害額 (千円)
降 雨 災 害	1,959,603
台 風 災 害	5,628,515
地震・津波災害	0
そ の 他 災 害	116,074
火 山 災 害	6,179,992
合 計	13,884,184千円

### ◆ 平成26年の梅雨時期

鹿児島地方 } 6月2日ごろ～7月16日ごろ  
種子島・屋久島地方 } (5月27日ごろ～7月8日ごろ)

奄美地方 } 5月5日ごろ～7月4日ごろ  
(5月10日ごろ～6月29日ごろ)

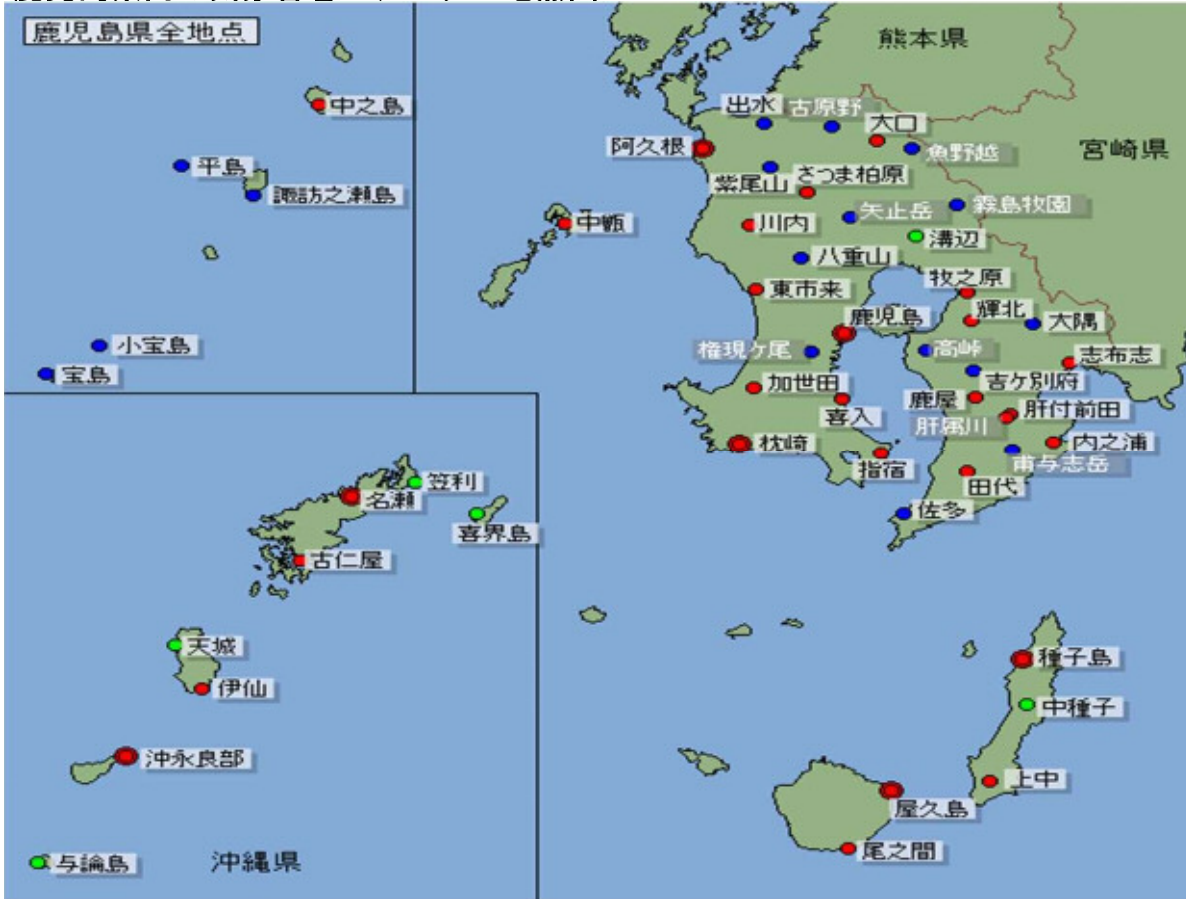
※ ( ) 内は、平成25年の梅雨時期

第2 被害総括表

区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分	被害数	単位	被害額(千円)				
人 的 被 害	死 者		人		衛 生 福 祉 関 係 の 被 害	病院・診療所等	14	棟	8,994			
	行方不明		人			水道施設	7	箇所	11,396			
	重 傷 者	8	人			清掃施設		〃				
	軽 傷 者	24	人			福祉施設	15	〃	10,313			
	合 計	32	人			そ の 他		〃				
住 家 の 被 害	全 壊	棟 数		棟	農 作 物 の 被 害	合 計	36	〃	30,703			
		世 帯 数		世帯		水 陸 稲	1,148.80	ha	59,388			
		人 員		人		麦 類		〃				
	半 壊	棟 数	5	棟		雑穀いも豆類	3,549.70	〃	101,010			
		世 帯 数	5	世帯		野 菜	3,604.40	〃	3,701,756			
		人 員	7	人		果 実	1,219.24	〃	560,374			
	一 部 破 損	棟 数	331	棟		工 芸 作 物	38,316.40	〃	1,726,260			
		世 帯 数	314	世帯		飼 料 用 作 物	791.20	〃	821,537			
		人 員	623	人		花 き	37.60	〃	560,823			
	床 上 浸 水	棟 数		棟		桑		〃				
		世 帯 数		世帯		茶	0.10	〃	1,382,600			
		人 員		人		樹 体	1.00	〃	367			
	床 下 浸 水	棟 数	66	棟		そ の 他	117.40	〃	139,864			
		世 帯 数	63	世帯		合 計	48,785.84	〃	9,053,979			
		人 員	96	人		耕 農 地	田	133	箇所			
	合 計	棟 数	402	棟			(流出埋没)	35.42	ha	157,000		
		世 帯 数	382	世帯			畑	152	箇所			
	非 住 家 の 被 害	公 共 建 物	棟 数 全 壊 半 壊	9		棟	関 係 の 被 害	農 業 用 施 設	ため池	1	箇所	10,000
									頭首工	1	〃	15,000
水路					127				〃	274,500		
そ の 他		棟 数 全 壊 半 壊	156	棟	道路	120		〃	323,500			
					橋りょう			〃				
					農地保全			〃				
					揚水機	2		〃	7,000			
そ の 他			〃									
そ の 他			〃									
合 計		536	〃	963,000								
					家 畜 等 の 被 害							

区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分	被害数	単位	被害額(千円)			
農業生産用資材施設	耕種関係		棟		土木庫負担対象の被害	国 県工事	1	箇所	146,756		
	畜産関係	217	"	79,145		交 市町村		"			
	蚕糸関係		"			省 小計	1	"	146,756		
	園芸関係	314	"	59,738		港 県工事	4	"	69,840		
	その他	1	"	135		農 市町村	2	"	384,788		
	合計	532	"	139,018		水 小計	6	"	454,628		
水産関係の被害	漁船	46	隻	9,871	被害	合 計	174	"	2,614,973		
	漁具		統			そ の 他	940	"	396,423		
	施設その他	11	件	8,669		総 計	1,114	"	3,011,396		
	合計			18,540							
鉱工業関係被害					学校関係の被害	高等学校	23	校	14,468		
商業関係の被害	店舗	58	棟	58,330		中学校	34	"	19,079		
	その他施設	11	件	7,061		小学校	54	"	13,570		
	商品	5	件	1,300		その他	2	"	427		
	合計			66,691		合 計	113	"	47,544		
山林関係の被害	林地(崩壊地)		23	箇所	182,100	その他の公共施設被害			23	箇所	31,227
	施設等被害	治山施設	3	"	215,237	鉄道関係の被害	鉄軌道関係		件		
		林道	7	"	59,727		線路工作物関係	1	"	58,000	
		林産施設		"			停車場工作物関係		"		
	林産物			ha			機 械 関 係		"		
合計	15		457,064	建 築 物 関 係			"				
土木庫負担対象の被害	国 国 県 土 工 事 省 市 町 村 管 事	河川	19	箇所	171,504	電 気 通 信 関 係 被 害	0	"			
		砂防		"		電 力 関 係 被 害	0	"			
		道路	18	"	375,272	水 道 関 係 被 害	1057	戸			
		急傾斜		"		警 察 関 係 の 被 害	91	件	5,290		
		橋りょう		"		交 通 安 全 施 設 の 被 害	71	"	1,732		
		海岸	4	"	504,830	そ の 他	0				
		その他		"		崖 く ず れ	53	箇所			
		小計	41	"	1,051,606	被害総額	総 合 計		13,884,184		
		河川	50	"	255,470		う ち 桜 島 降 灰 以 外		7,704,192		
		道路	76	"	706,513		う ち 桜 島 降 灰		6,179,992		
		橋りょう		"							
		その他		"							
小計	126	"	961,983								

鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



鹿児島県の注意報・警報細分区域 (平成27年5月現在)



## 内容に関する説明

### 1. 雨の降り方の表現

- 1 時間雨量が 30 ミリ以上 50 ミリ未満の場合、「激しい雨」
- 1 時間雨量が 50 ミリ以上 80 ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」
- 1 時間雨量が 80 ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が 100 ミリ以上を「大雨」という。

### 2. 表中の数値の補足

網掛けしている数値は「資料不足値」を意味する。統計値を満たすのに十分な資料数（全体数のおよそ 80 パーセントが必要）を満たしていないので、利用に関しては注意を要する。

### 3. 平年値について

1981年～2010年の平均値を使用している。

### 4. アメダス観測地点について

7月31日より宝島、9月4日より諏訪之瀬島・小宝島、9月18日より平島で降水量の観測開始。

### 5. 観測値の極値は2014年までの値。

## 九州南部および奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	5月10日ごろ	6月29日ごろ
2014年	6月2日ごろ	7月16日ごろ	5月5日ごろ	7月4日ごろ
平年	5月31日ごろ	7月14日ごろ	5月11日ごろ	6月29日ごろ